

「合併には中立・離脱もある」

— 9月議会で市原村長が答弁 —



長生村議会議員
石井としおの議会報告
http://www9.ocn.ne.jp/~tshii/

2003・9
第 24号

石井としお後援会
長生村七井土一三八七—二
0475(32) 1974

九月十八日(木) 村の定例議会が開催されました。今議会は十四年度の決算報告、補正予算も提案されました。十四年度の決算報告には決算審査特別委員会を設置し、石井も決算委員に入りました。合併問題では村長から「合併協議会に向けた姿勢は中立であり合併の離脱もある」との、答弁がされました。一般質問では石井を含め五名が質問に立ちました。石井からは①村の活性化に向けて②ゴミ問題について③合併問題などを質問しました。以下、報告となります。



— 陸沢町 つどいの郷 —

村の活性化に向け

古代食塩作りや道の駅を

石井質問、①村にはガスをくみ上げる企業があり、塩水を利用して古代の食塩作りが進められていきます。村の商工会からは県と村に要請書が出されました。特産品の開発に対する村の理解と考え方をお聞かせください。②村の文化会館の壁と合同資源産業のガスタンクに「村の花・ハマヒルガオの絵」を書き、村をアピールしたらと考えますが③

道の駅が全国的ブームです。近隣では陸沢町や大多喜町でも作っています。村内で適切な場所を確保し、道の駅を作ったかどうか、村の考え方をお聞きます。

「村の特産作りは協力し
道の駅は作らない」

村長答弁、①村の特産品作りについては地域の活性化の為に可能な限り側面から協力する②村を意識してもらうために県内の各団体にハマヒルガオの資料を配布しています。文化会館と、民間のガスタンクに絵を描く考えはありません。③道の駅作りは道路網の整備に伴ない長距離ドライバーや、女性、高齢者のドライバーが増加する中で地域の相違工夫により道路利用者に快適な休憩場所と質の高いサービスを提供する施設が各地に作られています。村内には波乗り道路の一宮パーキングに同様の施設があります。尼が台にも村の設置した農産物直売所があり、国道128号線にも民間の直売所が2ヶ所あります。

す。今の施設で十分な活動をしてほしいと考え、新たな村の施設は考えていません。

石井再質問、県内の道の駅を聞いてみると、多くは行政側からの提案で作られています。村の活性化は行政と議会、両面から共同提案が大切だと、考えます。村の行政も積極的に考えてもらいたいです。三芳村では「以前はハンター、千人しか来なかったが年間四十万人くるようになった」多古町のあじさい館では「有機多古米で年間100万人が訪れる」とのことです。大多喜町に聞くと「直売所を吸収し問題は無い」と言っています。村も積極的に調査、研究をして戴けないものか。

村長再答弁、多古町は私も見ています。大通りに面しているし、交通量もあります。村は尼が台の野菜直売と国道にも2ヶ所あります。村がバックアップして行きたい。道の駅を作り、入り込むのはいかなものかと思えます。



屋久島で回収される油収集タンク

生ゴミ処理機の普及と
生ゴミの再利用について

石井質問、①一番の問題はゴミの減量化です。生ゴミ処理機は一器2万まで補助金が出ます。生ゴミ処理機の普及状態は②ゴミ袋です。「家族が少ないので夏は腐ってこまる、小さい袋がほしい」「もつと大きな袋も」という声があります。ゴミ袋の種類を増やすことができないか。③最近、住民から「袋が破れやすくなった」と聞きます。元の袋に戻せないものか。④山形県の長井市や屋久島では生ゴミを百粒有機肥料にして農家に販売しています。屋久島では「ゴミ焼却費一千万が節約」とのこと。さらに屋久島では天ぷら油を回収し石鹸にしたり、ディーゼル車の燃料にも使っています。生ゴミや天ぷら油の再利用について、村も考えてみたらどうか。

「広域組合のゴミ燃焼で
電気を作り東電に売る」

村長答弁、①生ゴミ処理機の普及は昨年は17件、今年度は6件の申請があります。自治会長会議でも周知し、転入者にも伝えていく。②ゴミ袋の種類を増やすことは、広域市町村組合に要望する。③「不良品のゴミ袋(色の薄いもの)」は販売店、役場に連絡して頂ければ交換します。再度このようなことがないように製造品のチェックを厳しくします。④生ゴミや天ぷら油の再利用は燃焼過程で電力に変え、広域組合内の消費電力に利用し、電力会社に販売しています。生ゴミを再利用する考えはありません。

石井再質問、山形の長井市では生ゴミをバケツで回収し有機肥料化

販売しています。村は生ゴミとプラスチックを一緒に回収し燃やしています。屋久島でも長井市と同様な考え方で生ゴミを処理し年間一千万の燃料費を浮かしています。再度、村の考え方を伺います。

下水環境課長、生ゴミの再利用については、現在、広域行政組合で効率的な処理方法としてゴミの燃焼を電気エネルギーに変えています。村独自で生ゴミを再利用化する考えはありません。

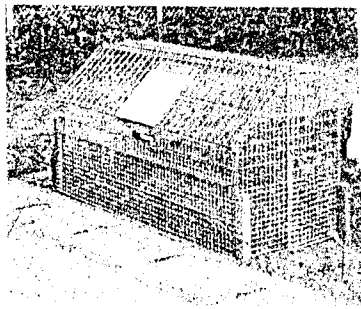
合併協議会・村長の姿勢は 住民説明会は土・日開催を

石井質問、①合併協議会が設置され村民からは「合併は決まったのか」という声が開かれます。村長は今後、合併に対して「賛成、反対、中立」どの立場で臨むのか。②今後、開かれる住民説明会では、平日の夜開催でなく、「土・日の開催」とならないのか、村の考え方を伺います。③合併協議会から出される月一回のニュースで、どう具体的に周知するのか伺います。④合併問題を決めるのは「住民」だと考えます。住民アンケートは、いつ、何人を対象に、どう実施するのか、又、最良の決め方は住民投票だと考えますが。

「住民説明会は土・日を検討」 住民投票も一つの方法

村長答弁、①合併協議会に向けた私の考え方は、長生郡市での法定協議会の設置を見ると、ほとんど賛成であり我が長生村は四人の議員が反対です。今後、合併協議会の状況によっては離脱もありうるし、厳正

中立の考えです。②住民説明会の開催方法(土・日)については十分検討します。③合併協議会からの周知は合併に向けた調整案を含め、月一回の協議会日より、ホームページ、村の広報でお知らせします。④合併の是非は住民の意見を参考にしますが、最終的には議会の判断です。議員各位が住民の意見を勘案し判断を求めます。住民アンケートの調査対象者は郡内一万人で、九月には無理です。住民投票は一つの方法だと認識しています。当初から住民投票は考えていない。



七井土自治会からの要望により今年度5ケの金網ゴミが設置されました。

「合併で国が減り貧乏に」 新潟加茂市の広報

石井再質問、①「長生村の広報は合併問題を随分書いている」と評価されています。新潟県加茂市の広報では「合併で国が減り、民主主義が死滅、交付税が減り貧乏になる」と、市長が言っています。市原村長も村の広報で「合併は良いこと、悪いこと」と、見解を述べられないものか。②我孫子市では住民意向調査で「合併反対が多数」だったので合併を断念した。今後、住民意向調査で反対

が多数な場合、村長はどうされるか。③合併した場合、二〇年後、五〇年後、後悔しても遅い。住民投票が一番だと思いが、考え方を伺います。村長再答弁、私は合併には厳正中立で進みます。確かに住民が決めることですが、先の議会で法定協議会を提案した結果、四人の反対はいたが、他は全員賛成なので。最終的には議会の議決が必要なので。住民アンケートもいいが当初からはやらない。結論としては中立です。



9月1日の合併協議会に多数の傍聴者

市町村合併について 田上町民の皆様へ

加茂市長 小池 清彦

(平成14年12月1日)

去る十一月十五日、加茂商工会議所は、田上町長、議長及び加茂市長、議員に対して、田上町と加茂市の合併をめぐって合併協議会をつくるよう要請書(請願書)を提出されました。このことがなされた以上、自らの見解を田上町民の皆様と率直に申し上げることが加茂市長の責務を考え、あえて皆様にごの資料を差し上げさせていただきます。

一 田上町と加茂市が合併しますと、毎年、国から来る「地方交付税交付金」が約十億円から十三億円減り、合併市の財政運営はきわめて困難になります。また、毎年、田上・加茂地域で十一億円から十三億円の当初需要が減りますので、この地域は狭域で賄いにくい地域となります。

約十一億円であり、加茂市の一年分の下水道建設事業費が約十一億円です。こんな巨額のお金が毎年国から来なくなるのです。これは、現在のすばらしい地方財政制度においては、「均等ある地方の預備」という基本哲学の下、日本の唯一の富める地域である太平洋ベルト地帯の大都市の富が、それ以外の相対的に貧しい地域へ回ってくるようになっていることによるものです。

その中核をなすのが「普通地方交付税」における「段階補正」の制度です。これは、人口十万人の市の「段階補正分」をゼロとし、それより人口が増えましたが、「段階補正分」として幾何級数的に地方交付税が増えるという制度です。また、人口が十万人を超える「一割り落とし」という過酷なことになり、「一段

国を亡ぼし、地方を亡ぼす 市町村合併に反対する。

加茂市が県央東部合併に加わらない理由



平成14年12月10日

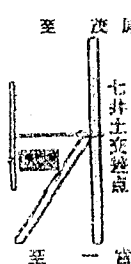
新潟県加茂市長 小池 清彦

新潟県加茂市で発行している広報の一部です。

無料法律相談をご利用ください

無料法律相談を開催します。事前申し込みで先着様、四名までご利用できます。

- いつ 十月十八日午前十時より
- どこ 石井としお後援会事務所
- 申し込み先 三三一一九七四



新潟県加茂市長のビデオをお貸します。

- ① 九月議会の質問から
 - ◆村は特産品作りに可能な限り協力する◆ゴミ袋の種類増は広域組合に要望する◆不良ゴミ袋は役場と販売所に連絡すれば交換◆住民投票も一つの考え方◆住民説明会は土日を検討◆合併は村長として中立、離脱もある。等の答弁をもらいました。
- ② 補正予算を見ると
 - ◆八積駅前の村駐輪場の建設◆文化会館のテスリを修理◆信友農道の補修◆金網ゴミ箱の増設◆八積駅の防犯カメラの設置、等が出され可決しました。順次、実現されます。
- ③ 合併協議会が開催
 - 九月一日、茂原市役所で第一回目の合併協議会が開催され、市原村長と東條氏より「採決は挙手で」「情報公開を徹底すること」などが質問されました。次回は十月十日、白子町です。新潟県加茂市長のビデオをお貸しています。